

保育おおさか

No. 452

平成 25 年 4 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/

「子ども・子育て会議」の設置、 保育関係者の参画について府へ要望

今後のスケジュール

保育部会は3月7日、大阪府に対して、地方版「子ども・子育て会議」の設置ならびに保育関係者の参画に関する要望書を提出しました。

新たな子ども・子育て支援制度の構築に向け、昨年8月公布の「子ども・子育て関連3法」に基づき、都道府県は「子ども・子育て支援事業支援計画」を、市町村は「子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

各計画の実施で重要な役割を果たすものとして同法では、地方版「子ども・子育て会議」の設置を規定していますが、その設置は努力義務となっており、そのため、保育部会として、大阪府に対し要望したものです。

「子ども・子育て会議」は、子ども・子育て支援事業計画に地域の子育て家庭の実情を踏まえた事業実施に重要な役割を果たすため、各市町村段階でも設置が求められます。

子ども・子育て支援新制度の施行を平成27年度の目標と国は、本年4月より「子ども・子育て会議」を設置。基本指針や認可基準などが順次審議されます。地方版「子ども・子育て会議」については、平成25年度以降できるだけ早い設置が望ましいとしています。

このまま行ったら『日本』はなくなってしまうのではないかと、いふ感を日まじに深くする。日本はなくなつて、その代はりに、無機的な、からつぽな、ニュートラルな、中間色の、富裕な、抜け目がない、或る経済大国が極東の一角に残るのであろう。それでもいいと思つてゐる人たちと、私は口をきく気にもなれなくなつてゐるのである」と筆者は記している。



三島由紀夫の
エッセイ「果してゐない約束
私の中の二十年」を久しぶりに読んだ。
「私は(中略)

要望書

大阪府において「子ども・子育て会議」を必ず設置いただきたい。

- (1) 地域主権を代表する施策の一つが「子ども・子育て新制度」。その実施主体は市町村
新制度では、市町村が実施主体。都道府県は国とともに重層的に支える位置づけです。自治体が主体的に責任を持ち保育・教育の質を確保しつつ、効果的な制度運用が大切です。
- (2) 新制度運用の柱は「子ども・子育て支援事業計画」と「子ども・子育て支援事業支援計画」。その実働の可能性を高めるために、子育て支援当事者の参加が計画策定に不可欠
地域のニーズに即した計画策定には、地域主権・地方自治の信頼性や実働の可能性を高めるためにも、保育・教育双方の観点を持った子育て支援当事者の参加が大切になります。

「子ども・子育て会議」は、制度運用のPDCAサイクルを動かす要。府の「子ども・子育て会議」の構成員として、社会福祉法人をはじめとする「子ども・子育て支援に関する事業に従事する者＝保育部会」を明確に位置付けていただきたい。

- (1) 保育部会は、「子育て支援に関する事業に従事する者」
保育園等を運営する社会福祉法人はじめ子育て支援事業者は、子ども・子育て支援に日々携わる者です。
- (2) 子育て支援事業者の構成要員への位置づけは、円滑な制度運用にも効果
保育・教育に実際に関わる事業経営者や保育士など責任感ある取り組みで一層の動機づけを与えます。
- (3) 自治体と事業者の連携による、子ども・子育て支援事業の計画づくりと制度運用が有用
子どもと保護者双方の利用者ニーズを把握している事業者が参画し、行政とともに計画づくりをすることは、地域における子育て環境の質を向上させることにもつながります。

市町村の「子ども・子育て会議」の設置と構成員として民間保育園が位置づけられるよう市町村に働きかけられたい。

我々は縁あって、長い歴史と文化、伝統を持つ魅力溢れるこの国に生まれ、多くの恩恵を受けている。この素晴らしい日本を後世の子どもたちに残していく義務があるように思う。
「乳幼児にかかわる我々が今これらのことに、真剣に取り組まなければならない」と危惧する今日この頃である。

(編集委員 T・S)



大阪府市町村の今がひと目でわかる 「保育所関係資料集」発刊

保育施策・待機
児数・補助金

府市町村の保育施策の実
施状況、待機児童数、補助
金額など、比較検討できる
内容で、市町村単一のみな
らず、府内の市町村の動向
をあわせて確認することが
できます。保育組織が行う
保育事業の調査研究という
観点では、全国的にも少な
い継続調査、パネル調査の
一つです。

大阪府内の保育需要の動
向を見る際、各市町村の就
学前児童数のグラフ、待機
児童数、入所児童数（公立
と入所児童数（私立））グラ
フが非常に有用です。

就学前児童数は、豊中市、
寝屋川市で増加傾向、その
他の市町村で横ばい、減少
傾向にあります。一方、大
阪府南部での就学前児童数
の減少が顕著です。

待機児童数のグラフでは、
待機児童のいない市町村が
多くみられる中、住宅開発
の進む市町村では1、2歳
児の待機児童が多いこと。
また、一度増大した待機児

童が、民間保育所の新規整
備で減少に転じている市町
村（堺市、茨木市）や、横ば
い、または増加している市
町村（枚方市、守口市、和
泉大津市）が見られます。

公立保育所の入所児童数
グラフでは、大阪府北部の
一部の市町村で横ばい、微
増が見られますが、全体的
に減少傾向で、民営化等の
影響が垣間見られます。

民間保育所の入所児童は、
ほとんどの市町村で増加傾
向。平成16年度版の資料集
（大阪府除く）では公立保育
所児童数37958人、民
間保育所児童数38252

人で、ほぼ同規模であるの
に対し、平成24年度版（大
阪市含む）では、公立保育
所児童数42285人、民
間保育所児童数99916

人（大阪市内の保育所を除
くと、公立保育所児童数2
9774人、民間保育所児
童数67758人）となっ
ています。10年としないう
ちに民間保育所が公立保育

園と比べ、2倍以上の児童
を受け入れています。これ
は、保育ニーズの高まりを
背景に、公立保育所経費の
一般財源化や安心こども基
金の創設が大きく影響して
いると考えられます。

一方、大阪府内の一部地
域では、就学前人口の減少
に伴い保育ニーズが減少し、
保育所定員が減員している
地域も散見されます。公立
から民間へ、また保育ニ
ーズの地域格差拡大の傾向が
今後予想されます。

末筆ですが、資料集作成
にご尽力いただいた府及び
市町村の担当者、先生各位
に厚く御礼申し上げます。

資料集が、それぞれの地域
の保育ニーズに着眼し、保
育所運営のご参考になれば
幸いです。

共同募金配分金の案内

今年も10月から実施される平成25年度（第
67回）共同募金運動開始に先立ち、共同募
金配分申請受付を開始します。

対象：大阪府内で行う民間社会福祉事業、
更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体。

受付期間：平成25年5月1日から
5月20日まで。

問合せ先：大阪府共同募金会

TEL. 06-6762-8717

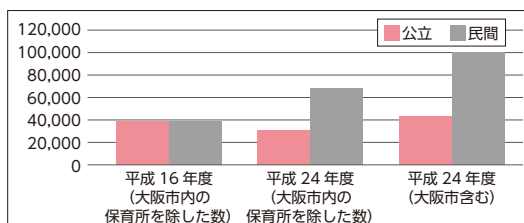
FAX. 06-6762-8718

URL : <http://www.akaihane-osaka.or.jp>

赤い羽根おおさか

検索

公立・民間保育所入所児童数



注：このグラフは平成16年度・24年度の保育関係資料集を基に新たに作成したものです。

スマイルサポーター認定者 1100人超

●地域貢献事業推進委員会●

3月18日、平成24年度
地域貢献支援員（スマイ
ルサポーター）養成研修
30日間の全日程が終了。
第一期研修251人、第
二期研修341人の参加
によりスマイルサポー
ター認定者の累計が11
00人超となりました。

昨年度は、従
来の育児相談員
養成研修と地域
貢献支援員（ス
マイルサポー
ター）養成研修
を一本化し、カ
リキュラムの改
訂を行い実施し
た1年目でした。
今回の改訂で、
スマイルサポー
ター認定者増を
目的とした「研
修定員増」を行いました。
従来の育児相談員養成研
修の定員は約100人で
したが、申込者全員が受
講可能となりました。
今回から単位制を導入
し、受講歴の持越しを認
めました。「やむを得ず欠
席をしなければならぬ
場合があるため、単位制
はこれからも継続してほ
しい」と好評でした。
少し理解が難しい内容
や重複している内容が
あったものの、「実践報
告」や「事例検討」を追
加したことにより、「さま
ざまな意見が聞
け、大変参考
になった」と
いう意見も多
数ありました。
受講者や園
の負担軽減を
考慮し、従来
の1日研修か
ら半日研修に
変更しました
が、受講者か
らは賛否両論
の意見があり
ました。
いただいたご意見をも
とにより良い研修になる
よう努めます。
今年度の同研修の案内
は4月後半頃に行います。
多数ご参加ください。

阪 急宝塚線三国駅から
神崎川を渡り、堤防

ほど近くに豊南みどり保育園
園はあります。田原翠成理
事長は、豊中市の南の端では
なく、「玄関口」として常に
意識されているそうです。

昭和50年に豊中市委託簡
易保育園として開園。その
礎は昭和27年に創立された
豊南幼稚園で、幼保一元化
を実現されています。定員
は本園と分園を合わせて60
人。1歳から就学前までを
本園で過ごします。園舎は
1階が保育園、2階が幼稚
園となっています。生後57
日〜2歳未満は隣接する
アットホームな雰囲気の方

園で過ごします。

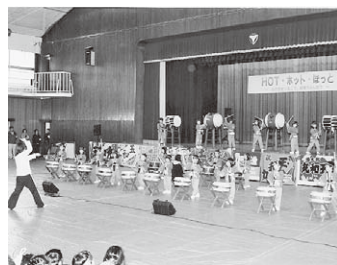
行事やスポーツ指導は、
幼稚園児と合同で行いま
す。中でもジョギング大会
は、運動会を終えた11月、神
崎川の河川敷を走ります。
走路にのぼりを立てて大会

を盛り上げます。親子での
参加もでき、年長児は80
0m、年中児は600m、
年少児は300mを走りま
す。ちびっこランナーたち
は、保護者に作ってもらっ
た思い思いのゼッケンを付
けて走ります。このジョギ
ングの取り組みは、小学校
にも受け継がれています。

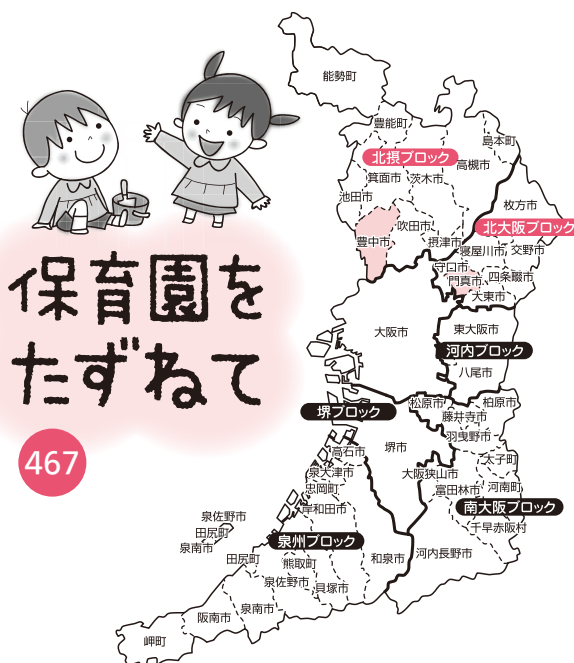
地域とのつながりを大切
にする保育園として、地域
の行事には積極的に参加さ
れています。9月の敬老の
集いには「エイサー」を披
露。特に和太鼓の演奏は、
さまざまな行事のオープニ
ングで腕前を披露していま



元気一杯に走る子どもたち



和太鼓で盛り上げます!!



**保育園を
たずねて**

467

社

会福祉法人小百合園
「古川園」は、設立63
年を迎える定員150人の
保育園です。平成11年の50
周年に「木のぬくもりを感じ
る」園舎に建て替えました。
公立民営化された門真市の
「柳町園」は姉妹園です。

毎朝、元気な体操から一
日が始まります。立つ姿に
力が入っているのか、後ろ
から背中をツンツンと押し
ていくと、子どもたちは喜
んで手足に力を入れて待っ
ています。腰を入れた綱引
きや、縄跳び、馬とび、ゴ
ムとび、高這いなどを行
います。2歳児が年長児から

「柳町園」は姉妹園です。
毎朝、元気な体操から一
日が始まります。立つ姿に
力が入っているのか、後ろ
から背中をツンツンと押し
ていくと、子どもたちは喜
んで手足に力を入れて待っ
ています。腰を入れた綱引
きや、縄跳び、馬とび、ゴ
ムとび、高這いなどを行
います。2歳児が年長児から



楽しい昼食時間!



室内でもたくさん遊べるよ



体操楽しいよ!

**木のぬくもり感じる園舎
一人ひとりに保育士が寄り添う**

**朝のトレーニングに燃える子ら
年長児がギャロップ・スキップ指導**

門真市

古川園

機嫌の悪い子、すぐ怒る子
など、子どもたちの性格や
難しさもさまざま。気持ち
をくみとり「落ち着く遊び
は?好きな場所は?どんな
言葉掛けで落ち着く?」な
ど、一人ひとりを大切にし
ながら、自律できるように、
保育士が寄り添います。

制作や文字のおけいこで
は、書画カメラ(実物撮影影
機)で手元をわかりやすく
映して指導をしています。
お遊戯でも、先生がモデル
となったビデオをみんな
で見て、子どもに伝える方
法を研究していました。

(編集委員M・S)

地球環境に優しい保育園 エコ環境も取り入れ快適に

子どもたちの笑顔がいっぱいのびのび育ち合う園生活

東大阪市

ポッポ第2保育園



子ども・職員・地球に配慮した園舎



白メダカを放流



玄関ホールには民舞の衣装

(編集委員K・M)

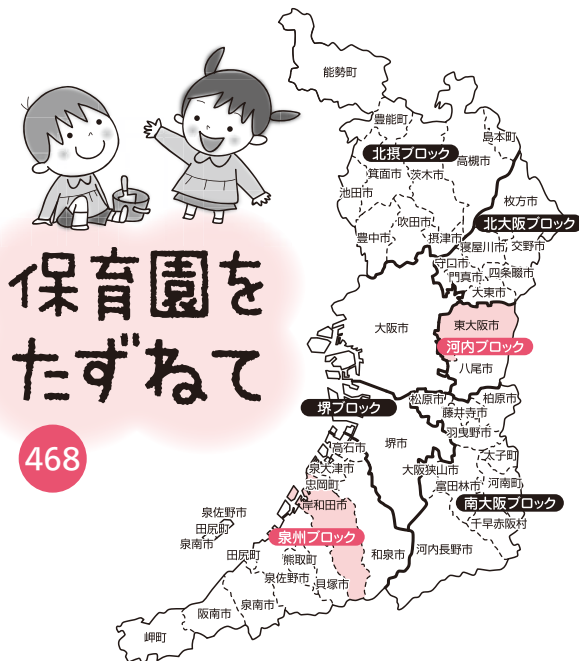
園庭には雨水タンクやミミズコンポストを設置。メダカが放流されたビオトープも作られています。水の大切さや環境問題について、「市民の会」の人たちとともに、園児や保護者も一緒に学ぶ機会を大切にされています。

Ｒ学研都市線鴻池新田駅と住道駅の間にあるポッポ第2保育園（鴻池ポッポ福祉会）は、2005年に設立した90人定員の保育園です。

保育目標に、「①子どもたちの成長発達を保障する②保護者が安心して預けられる③地域に貢献できる④職員が健康で働くことができる保育園」を目指しています。

保育内容として毎年5歳児が取り組んでいる民舞の「荒馬」は、開園当初からの伝統となっています。相手としっかりと目をあわせ、「ラッセラー」のかけ声とともに、友だちと共感しながら踊る姿は勇壮です。また、毎週1回ホールに全園児が集まり、身体づくりのために、リズム運動にも取り組んでいます。「うま・かめ・ザリガニ」などになりきり、リズムに合わせて運動します。毎年の運動会を通して、子どもたちの育ちが実感できます。

今年度から窓と屋根に断熱加工が施され、子どもたち、職員が快適に生活できるような環境を整えました。昨年の夏はクーラーを止め、冬は暖かい部屋で過ごせるようになりました。屋根には太陽光発電、



保育園を
たずねて

468

だんじり祭りや有名な岸和田市の山手側に位置するやまだい保育園は、三方を水田に囲まれ、一年を通して吹く風は常に園舎と園庭を通り抜け、少し目を上げれば青空が広がる自然環境に恵まれた場所に位置しています。

子どもたちが様々なことにチャレンジできるように、音楽・和太鼓・水泳・体操・ＥＣＣ・学習・科学といった多彩な特別保育事業を展開されています。また、1週間の保育の様子を写真と記事つきで紹介している

カラー刷りの『WEEKLY Y』を作っています。平成10年9月からずっと、白井隆雄園長が直々に編集作業をされた上で毎週発行。全保護者に配布されており、すでに750号に達しています。

地元の方との連携も緊密で、祭礼前日に「だんじり見学」として、子どもたちに鳴り物体験や本番さながらにだんじりを曳かせてもらっています。祭礼前日の多忙の中、平日の朝から何十人という町会の方に協力してもらっている行事です。地元との結びつきへの意識の強



朝の体操



だんじり見学

青空と田んぼとお祭りと
地域と連携・地域への貢献

音楽・和太鼓・水泳・体操…
多彩な特別保育を展開

岸和田市

やまだい保育園

(編集委員N・N)

さに感心させられました。「高齢者と子どもが共に過ごす、世代を超えた複合施設」として「やまだいふれあいの家」が昨年オープン。1階が高齢者のデイサービス、2階には当園の一時保育室（一時預かり事業）があり、短期間保育を必要とする家庭の子どもたちを預かっておられます。以前から地域の方の切実な要望があり、地域貢献事業として一時保育室が開設されました。「小さな園ですが、地域に密着した、特徴ある保育園を目指して行きたい」という園長先生のお話でした。



● 保育園における業務改善 ●

理念・基本方針・マニュアル… 共通理解を深めるために

玉川橋保育園（高槻市）

今月号から保育のまどでは、新たなテーマとして「保育園における業務改善」を連載してまいります。今回は玉川橋保育園の職員が保育部会主催の「保育サービス標準化セミナー」（講師高田一平氏・平成8年6月～平成19年7月）に受講し、それをもとに行った業務改善を紹介いたします。

マニュアル・ 規定・要領 ―様式のバラツキをなくす―

まず保育園運営の基本となる「理念・基本方針」の見直しから始めました。

保育と安全性の向上のためには、全職員がそれぞれの役割を的確に果たし、専門性と技術の向上を目指すことです。当然のことではありますが「職員の社会的倫理観の向上」という一文

も追加しました。

各自が定期的に自らの業務について振り返る姿勢を培うために「目標の見直しや反省を定期的に行ない、改善する」ことを基本目標の最後に記述しています。既存する全マニュアルの改訂と、新たに必要性を認めた項目を随時追加発行していきましました。

当園職員の行動基準を表した「職員マニュアル」、保育環境の整備なども含めた

「保育マニュアル」、リスクマネジメントの視点による「事故防止対策マニュアル」や「個人情報保護マニュアル」を整備し、新入職員の研修などに使用しています。

目に見える ようにする

業務見直しの一例として「お散歩」時の対応について紹介します。

以前は、散歩に出る時には口頭で管理職へ伝えて出発していましたが、まず「お散歩マニュアル」を作成し、マニュアルにある場所のみ



保育の見直しを話し合う

を歩き先に選択するように変更しました。マニュアルには、園から公園までの地図や写真などを掲載し、出発時には「お散歩記録表」に引率者氏名・行き先・お

散歩参加人数・園内に残る子どもの人数・出発時間・帰園予定時間を記入して管理職へ提出します。帰園時、同じ用紙に帰園時間と帰園人数を記入する、という方式に改善しました。

人数確認への意識付けと、「行き先」を園内の職員が把握することにより、出先から緊急連絡が入った際には、応援に行く、また警察へ連絡するなど迅速に対応できる体制作りです。

業務の振り返りという観点からは、毎月末に「保育の自己点検表」を保育士全

保育の自己点検表		社会福祉法人 玉川橋保育園		
内容	点検項目	できている	できていない	備考
保育士の関係	1 保育士同士がイキイキと保育をして表情が明るい			
	2 保育士同士が気軽に声をかけあっている			
	3 保育士が仕事の分担を確認し合っている			
	4 保育士同士が子どもの姿を伝え合っている			
	5 保育士同士の話し合いが十分にできている			
保育士の保育姿勢	1 一人ひとりの子どもを丁寧に保育している			
	2 子どもの思いをゆつたりと受けとめる保育をしている			
	3 その場その場で子どもに適切に働きかけている			
	4 子どもたち楽しそうに共感している			
	5 保育士が意欲を持って保育を実践している			
保育のあり方	1 子どもを把握し指導と援助を適切に行っている			
	2 子どもへの援助がさりげなく行われている			
	3 指示的・命令的になかまわりをしていない			
	4 子ども同士の関係を大切にしている			
	5 子どもの姿に適した保育を計画し実践している			
子どもの姿	1 子どもが自分を出して生き生きと生活や遊びをしている			
	2 子どもがじっくりと遊んでいる			
	3 子どもが気軽に保育士に援助を求めている			
	4 子ども同士楽しそうにかかわっている			
	5 子どもたちが見通しを持って行動している			
親との関係	1 保護者に気軽に話しかけている			
	2 保護者の求めに丁寧に応じている			
	3 保護者との信頼関係が保たれている			
	4 家庭状況を把握し適切な援助をしている			
	5 保護者同士気軽に話している			
保育環境条件	1 環境が清潔に整えられている			
	2 玩具を分かりやすく配慮している			
	3 手順よく生活できるようにする			
	4 自発的に行動できる環境がある			
	5 保育室全体に落ち着きがある			

記入の仕方 ※3段階のいずれかに○をつけること

名前

見直しシート

員が業務（保育）を振り返り記入して提出します。例えば「保育士同士がイキイキと保育をして表情が明るい」という項目について、それができていたかどうかを自らよく考えて記入します。必要に応じて管理職がコメントを記入して返却します。「保育士の関係性」「保育士の保育姿勢」「保育のあり方」「子どもの姿」「保護者との関係」「保育環境条件」の大項目と30の小項目から構成されています。

セミナーで教わり、マニュアルづくりで常に配慮したことは、「定期的に実施する」などの漠然とした表現から、「毎月1日に実施する」など、わかりやすい言葉に変えて記入するという点です。

同じマニュアルを使って研修をしても、個人の解釈に幅があります。全員に共通理解が得られていないことや、職員の退職、雇用形態の多様化によっても習熟度に差があることなど、今後の課題として毎年の努力の積み重ねが必要であると痛感しています。

（編集委員 M・K）

北摂

気遣いとけじめ

―2年・3年目保育士対象研修会

3月4日と11日に茨木市

福祉文化会館で北摂ブロッ

ク保育士研修会を開催。2

年目・3年目の職員が対象

です。

講師の樋間勢津氏（株式
会社STC）はとても分か



樋間勢津氏

りやすく、明日からの保育
に活用すべき内容でした。
毎日の保育で、自分がで
きていること、できている
と思っただけのことなど、
さまざまな事柄を振り

返ることができました。
保護者や職員同士の関係
づくり大切なのは円滑な
コミュニケーション。コ
ミュニケーションを築くた
めに必要なのは、マナーや
礼儀だけではなく、ちよっ
とした気遣いとけじめだ
ということを教わりました。
講義中、隣の参加者との話
し合いや、発声の練習、時
にはマイクを持つての発表
などがあり、充実しつつも、
とても短く感じる3時間で
した。



よりよい保育士を目指して

2年目を迎えるにあたつ
て、何を考えて仕事をしな
ければならないか、今の自
分に不足しているものは何
か、など自分を見つめ直す
良い機会となりました。
研修で教わった色々な技

河内

その先の育ちを支える

―ブロック合同研修会

2月20日に河内ブロック

合同研修会が開催され、「い

じめ、不登校、問題行動、

虐待：保育園に何ができ

のか」のテーマで臨床心理

士の窪田容子氏（女性ライ

フサイクル研究所）が講演。

窪田氏は、人格の土台が

形成される乳幼児期は基礎

力形成のために「自尊心」

「自己肯定感」「良好な自己

評価」という自分への信頼

感を築くことができた

と、それが育てば「挑戦で



会場の様子



窪田容子氏

きる」「頑張れる」「困難や
ストレスを乗り越えられる
「自分らしくいられるよ
うになる」と、7項目を指
摘されました。

①安心をたくさんもら

（あなたの安心が大切）

②スキンシップをとる（あ

なたの体が大切）

③関心をもらう（あなたの

経験が大切）

④話に耳を傾けてもら

（あなたの話が大切）

⑤共感してもらう（あなた

の感情が大切）

⑥肯定的メッセージをもら

う（あなたの成長や努力

が大切）

⑦ありのままの子どもが受

け入れられる（あなたの

存在が大切）

このような育ちは、子ど
もたちの人生を支える宝物
と強調。私たちは、専門職
としての役割理解と実践す
ることの重要性を痛感した
研修となりました。

（編集委員C・T）

旬

よく噛んで、溢さぬようにいただきます

芽吹き、息吹き、年度始め。さあ、元氣出して

さあ4月！年度始め、新入園
児の泣き声が賑やか。桜の便り
がアチラコチラから。例年あそ
この桜を見たいな等々、思いを
抱く。

芽吹き―竹冠に句と書く筈
朝早くに長靴ゴム手袋のイデタ
チで筈掘りに。筈掘りは簡
単そうで、なかなか難し
い。素人は最初においしい
処を切ってしまう。他にも
ワラビ、ゼンマイ、山ふぎ

等々、山の息吹きが聴こえて来
る。さあ元氣出して踏み出しま
しょう！！

子ども・子育て関連三法に基
づき国や各自治体に「子ども・
子育て会議」が設置される。我々
保育当事者も是非委員に！！との
申し入れを全国保育協議会がひ

な型を作り全国組織へ配布して
いる。
府へは要望済み。各市町村へ
も是非要望されたい。役所は何
も言わなんだから、放って置かれ
まっせ。

5年前になるが、日本を震撼
させた冷凍餃子の中毒事件の記
事の切り抜きが出てきた。当
時、段ボール肉まんなどともに
ニュースになった。

金美齢さんは「日本人は餃子
くらい自分で作れ。食育・グル
メと騒ぐわりには、全く手抜き」
と指摘。

私は、買い物でも必ず製造者
の記名の有無を見て、販売者の
みのモノは買わない。
何か事故が起きるとその責任
を問いに走るが、安心、安全を
考えるのであれば正に自助、自
己責任が大事である。高くても

メイド・イン・ジャパンは安心だ。
「もったいない」という言葉
はもともと日本人が大事にして
きた心掛け。近頃外国のマスコ
ミが取り上げるようになった。
私が子どもの頃、米粒はお百姓
さんが力を注いで作られた物。
感謝し良く噛んで溢さぬように。

（H・N）